

なんだ・かんだ

◆ 献眼 ◆

12月に父が亡くなった際、献眼をしました。父もアイバンクへ登録していた(本人の意志)こともあり、亡くなって直ぐに母に献眼をしても良いか確認をしたところは非との事(遺族の同意)だったので、看護婦さんへ申し入れをしました。

夜も9時を過ぎていたのですが、アイバンクの事務局へ直ぐに連絡をして、担当の眼科医に連絡を取っていただいたところ、1時間ほどで病院に到着し、眼球を摘出していきました。摘出に要した時間はほぼ40分程度です。摘出した後には綿を詰めて、義眼を入れてくれるので、眼球を摘出したのはほとんど分からなくなります。

その後、1月の始めに別件でアイバンクの事務局の方とお電話でお話しをした際に、父の目は愛知の女性に片眼、山形の男性に片眼が移植され、お二人の眼が見えない方に光を与えたという報告を聞きました。

この報告を聞いた時、とても感激してこみ上げてくるモノがありました。直ぐに、家族にも報告すると皆口々に「良かったね」、「素晴らしいね」、「おじいちゃんは死んでも目だけは他の人の体の中で生きてるんだね。」と感激しながら話をしました。父の魂は我々の心の中に残り、献眼をしたことにより、その角膜はどなたかはわかりませんが、目の見えない方に光を与え、しばらくの間この世に生を受け続けて行くのだと思います。大変素晴らしくそしてありがたいことです。

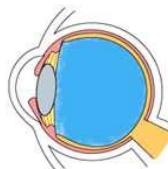
4年程前、本通信のVOL21でアイバンクのことに少しふれました。何もしなければ、2020年に世界の盲人数は7000万人にも増加すると推定されています。そして、日本では視覚に障害のある人は約40万人といわれ、そのうち角膜移植の適応と考えられる視覚障害者が約5万人もいらっしゃいます。

献眼とは、この5万人の方が角膜を移植することで視力を取り戻す為に、自分やご家族の方が亡くなった時、角膜を提供する善意なのです。何とかこの様な視覚障害者の方に光を与えようというのがアイバンク運動です。アイバンクを中心に失明予防に力を注ぎ、角膜の病気で苦しんでいる人々が、光を取り戻されるよう努力しているのです。

献眼に事前の登録は必要ありませんが、アイバンクに献眼登録を行なうと献眼登録カードが発行され、これを携帯することで自らが献眼の意思があることを示すことができます。しかし献眼は本人の意思表示があったとしても、家族の同意がない場合はできないので、事前に家族と十分話し合う必要があります。また本人の意思表示が無くても家族の意思で提供することも可能です。腎臓等の臓器移植の場合、年齢の上制限限があるようですが、眼球提供の献眼にはありません。既往症などで献眼出来ない場合を除いて、ほぼ移植が可能です。生前は近眼だった人でも問題なく角膜を提供できます。

関心のある方は是非、下記のお電話又はメールで、チキリ服部徹一郎までお問い合わせください。パンフレットや申込のハガキをお送りいたします。

献眼推進運動の先駆者である、尊敬するご住職曰く
「虎は死して皮を残し、人は角膜を残す。」



■ 出合いがしらの事故 ■

先日出合いがしらの事故で車を廃車にしまいました。とはいっても、大事故で車が大破したわけではなく、乗っていた車が古い車で、修理費が残存車両価格を大幅に上回った為に廃車にしたのです。もちろん体も大丈夫でした。

交差点を左折してすぐに、対向車線の信号待ちで並んでいる車の間から、急に車が飛び出てきて事故になりました。現場検証で警察の方に、「今回は、あなたは被害者的な立場ですが、飛び出て来たのが人間だったら加害者になりますからね。」と言われ、ちょっとぞっとしました。

災害はすぐそこに眠っています。皆さんも気をつけて下さい。



三寒四温

立春を過ぎまた尚大変寒い日が続いていましたが、やっと雨水を過ぎから三寒四温、ひと雨毎に春の足音が聞こえて来ている様に感じます。春に咲くサクウの花芽は、前年の夏に形成されるそうです。その後一旦、「休眠」という状態になり、眠った花芽は冬の間低温にさらされることで、眠りからさめ、開花の準備を始めます。これを「休眠打破」というそうです。休眠打破は、秋から冬にかけて一定期間、低温さらされることが重要なポイントで、春をむかえ、気温が上昇するにもなると、花芽は成長「生成」し、気温が高くなるスピードにあわせて、花芽の生成も加速します。そして生成のピークをむかえると「開花」することになります。

従って桜の開花は、秋から冬にかけての気温と春先の気温に、大きく関係し、今年はこの低温期が例年よりも長い為に、桜の開花は少し遅れると予想されています。昨年の桜は、大震災の後で、花見という話も出ませんでした。今年はこのままの予想で行けば、4月の入学式頃が開花のピークになりそうで、桜の花が舞い散るなかでピッカピカの1年生がちよっと大きめの制服を着て初々しく入学式を迎える。そんな光景を見ることが出来るそうです。そして、花見で一杯！

代表取締役 服部徹一郎

チキリについて⑥

● 土木工事 ●

創業以来モノを販売する事を生業としていましたが、昭和43年に当社が販売代理店をしていますワイヤロープの製造メーカーである東京製綱株式会社様が、新分野参入として道路安全防护施設商品として

- ・ガードケーブル (道路から車が飛び出さないように敷設されるガードレールの鉄板部分をワイヤロープに置き換えた物)
- ・ロックネット (崖から岩や石が道路に落ちてこないように崖に網をかけてしまうもの)

等を上市したので、静岡地区での材料販売と工事の施工をするようになったのが始まりです。

折しも、東名高速道路の工事が始まり、当時の日本道路公団に採用され、御殿場から掛川までの中央分離帯にガードケーブルの設置工事を受注し施工しました。同様にロックネットも東名高速道路の他にも、県の土木事務所が管轄する伊豆・静岡・浜松などの山間部の道路に敷設されるようになりました。

当時に比べ、公共工事は予算も削減され、利益も出しにくくなってしまいましたが、事故を未然に防ぎ、落石の危険がある地区に住んでいる方が安心して暮らせるようになる、「安心と安全」を売る仕事として誇れる仕事だと思えます



本レターのご提供に付きまして、ご不要・ご迷惑という方に付きましては、その旨ご一報頂きたいと思えます。次回からの発送を中止させていただきます。N

株式会社チキリ
静岡県駿東郡清水町卸団地 73

Tel 055-971-9610 Fax 055-973-1534

E-mail gen@chikiri.com URL <http://www.chikiri.com/>